

令和4年度

酒田市

予算特集

令和4年度予算は、新たな財政需要への対応と持続可能な財政運営のため「変革への挑戦」をテーマに掲げ、酒田市総合計画の目指すまちの姿「賑わいも暮らしやすさも共に創る公益のまち酒田」を実現するため、次の4点を重点に編成しました。

- 1 カーボンニュートラル社会の実現への貢献
- 2 コロナ禍から得た教訓を活かすまちづくり
- 3 社会包摂による共生社会の実現
- 4 市民に優しいデジタル変革の推進



酒田駅前交流拠点施設 ミライニ



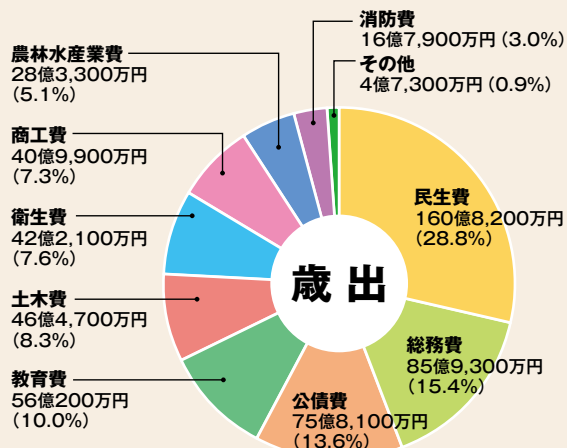
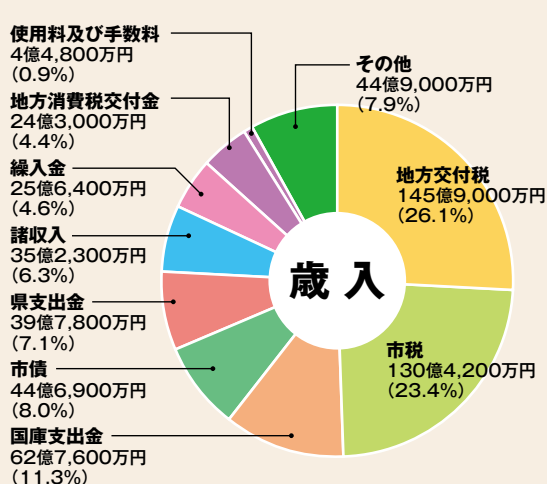
令和4年度 当初予算の概要 ~「賑わいも暮らしや

1 会計別の予算規模

●一般会計 総額558億1,000万円

(対前年度比+8,000万円 / +0.1%)

一般会計とは、福祉、子育て支援、道路整備、教育など基礎的な行政サービスを行うための会計です。



※円グラフにおける歳入・歳出の内訳額は、百万円単位で表示しています。

●特別会計

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で賄う会計です。収支を明確にするために、一般会計から切り離して経理しています。

会計	予算額	対前年度比
定期航路事業特別会計	3億 884万円	0.6%
国民健康保険特別会計	106億1,443万円	4.2%
後期高齢者医療事業特別会計	14億4,748万円	5.2%
介護保険特別会計	136億 667万円	1.4%
風力発電事業特別会計	4億3,531万円	32.5%
駐車場事業特別会計	1億6,724万円	595.9%

●企業会計

企業会計とは、民間企業と同様に事業の収益によって運営している会計です。

会計	予算額	対前年度比
水道事業会計	収益的収入	27億1,374万円 △1.7%
	収益的支出	25億7,499万円 △2.4%
	資本的収入	4,871万円 194.7%
下水道事業会計	資本的支出	12億1,427万円 10.0%
	収益的収入	46億6,320万円 △3.7%
	収益的支出	46億4,855万円 △3.1%
	資本的収入	4億 789万円 △22.1%
	資本的支出	26億4,719万円 △2.7%

2 主な基金の状況

※金額は百万円単位で表示しています。

基金とは、特定の目的のために現金などの財産を運用するもので、家計でいうところの貯金にあたります。令和4年度末の主な基金の残高見込みは次のとおりです。

●令和4年度末基金残高見込み 93億7,000万円 (対前年度比 +18億7,700万円)

財政調整基金 28億6,800万円 (対前年度比 +8億200万円)

突発的な災害などによる支出増や、経済の不況などによる収入減などに備えるための基金です。

市債管理基金 12億8,600万円 (対前年度比 +5億7,200万円)

建設事業などの借入金返済の際に、年度間の平準化などを行うための基金です。

さかた応援基金 7億1,500万円 (対前年度比 +3億6,900万円)

ふるさと納税による寄附金をもとに、魅力あるまちづくりを進めるための基金です。

すさも共に創る公益のまち酒田」を目指して～

※対前年度比とは、令和3年度当初予算額との比較です。

3 主な歳入の状況（一般会計）

※主な項目を記載し、金額は百万円単位で表示しています。

市 税

130億4,200万円

(対前年度比+1.8%)

- ◆個人市民税 42億7,700万円 (+1.0%)
- ◆法人市民税 10億2,500万円 (+21.1%)
- ◆固定資産税 58億3,900万円 (+0.1%)
- ◆市たばこ税 6億2,800万円 (+0.6%)
- ◆都市計画税 8億1,600万円 (+0.5%)

地方交付税

145億9,000万円

(対前年度比+7.8%)

- ◆普通交付税 133億4,000万円 (+8.5%)
- ◆特別交付税 12億5,000万円 (0.0%)
国内どの地域においても、一定の行政サービスを提供できるよう、国から配分されるお金です。

その他

281億7,800万円

(対前年度比△4.1%)

- ◆国庫支出金 62億7,600万円 (△8.7%)
- ◆県支出金 39億7,800万円 (+4.0%)
- ◆寄附金 30億 300万円 (+49.4%)
- ◆市債 44億6,900万円 (△20.1%)

4 主な歳出の状況（一般会計）

※主な項目を性質別に記載し、金額は百万円単位で表示しています。

義務的経費

247億700万円

(対前年度比△0.9%)

- ◆人件費 76億3,000万円 (△1.5%)
- ◆扶助費 94億9,600万円 (△0.6%)
子育て支援や障がい者支援など福祉のための経費です。
- ◆公債費 75億8,100万円 (△0.8%)
過去の建設事業などに使った借入金を返済するための経費です。

投資的経費

41億2,300万円

(対前年度比△19.5%)

- ◆国体記念体育館改修事業 8億3,000万円
- ◆駅周辺整備事業 3億4,100万円
- ◆体育施設耐震改修事業 2億6,600万円

その他の経費

269億8,000万円

(対前年度比+5.1%)

- ◆物件費 77億3,600万円 (+11.7%)
委託料や光熱水費、消耗品費などの経費です。
- ◆補助費等 97億9,800万円 (△2.3%)
補助金・負担金のほか病院事業への負担金なども含まれます。
- ◆繰出金 46億5,100万円 (+1.7%)
特別会計に対する支出などです。

5 市債の残高（一般会計）

市債とは、過去に建設事業などを行うために借り入れたお金です。

家計でいうところのローン残高にあたる市債の残高は次のとおりです。

- 令和4年度末市債残高見込み **579億3,200万円** (対前年度比 △12億1,300万円)

6 行財政運営の方針

●効率的な行財政運営による市民サービスの維持・向上

行政のデジタル変革を進め、「ウェブで完結、酒田市の手続き」を目標に、行政手続きのオンライン化を進めます。マイナンバーカードの休日申請窓口の開設や、企業・団体への出張による申請受付を行い、その普及に努めるとともに健康保険証利用や電子証明書利用の周知に努め利用拡大を図ります。

●持続可能な財政基盤の確立

本市の財政は、恒常的に歳出の水準が歳入の水準を上回る構造になっており厳しい状況にあります。そのような状況下において、ふるさと納税のさらなる獲得、未利用財産の売払い、風力発電事業の売電収益の活用など歳入確保にも精力的に取り組んでまいります。

1 未来を担う人材が豊富な酒田 ~ひとづくり・協働~

1 協働の芽吹きとなる市民参加があふれるまち

●市民協働・公益活動推進事業／1,348万円

市民等の自発的なボランティア・公益活動を支援するとともに、公益活動団体と市が協働し知恵を出し合うことで、多様化する地域課題の解決や新たな価値の創造を目指します。

2 大学とともにつくる「ひと」と「まち」

●大学まちづくり推進事業／1,206万円

東北公益文科大学の有する知見・資源を市の施策に活かすとともに、地域で活躍できるデジタル人材育成を支援します。また、市民が大学の資源を活用できるよう、大学の「大人の学び場」としての機能充実にに向けた連携を推進します。

●東北公益文科大学学生定住促進事業／407万円

奨学金の返還を支援し、東北公益文科大学の卒業生の本市への定住を促進します。



全国的にも高い評価を受けている東北公益文科大学

3 公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち

●教育相談事業／1,979万円

児童生徒の心の問題に関わり、専門的に相談を受けることができるスクールカウンセラー等を配置し、生徒指導と教育相談の充実を図ります。適応指導教室に通級する児童生徒に対して個々の状態に応じた指導をすることにより集団への適応能力を育成し社会的自立を目指します。

●教育支援員配置事業／8,367万円

教育支援員を配置することで、通常学級や特別支援学級において個別の支援を必要とする児童生徒への学級担任等の指導を補助したり、要支援児童生徒の介助にあたります。

●小中一貫教育推進事業／180万円

各中学校区の実態に即した、義務教育9年間を連続した教育課程ととらえ、特色ある小中一貫教育を推進します。

●GIGAスクール推進事業／4,472万円

児童生徒一人一人に整備されたGIGAスクール用端末を快適に使用できる校内ネットワークの保守・運用を行うとともに、セキュリティや協働学習支援ソフトの更新、学習ドリルの導入により、児童生徒の確かな学力の向上を図ります。

●子どものスポーツチャレンジ支援事業／524万円

子どもたちがスポーツに出会いチャレンジするきっかけを創出し、身近な場所でスポーツに取り組むことができる環境を整備するとともに、運動習慣を身に付けさせ、子どもの体力向上を図ります。



新たに学校に配置されたGIGAスクール用端末を活用した学習風景



子どもがスポーツと気軽に触れ合える環境を提供します

4 学びあい、地域とつながる人を育むまち

●生涯学習施設整備事業／1,627万円

利用者の安全を図るため、ひらた生涯学習センター高圧受変電設備の更新、テニスコートフェンスの更新等を行い、施設の適正管理に努めます。

●文化芸術推進事業／3,326万円

アーティストが地域の小学校でのクラスコンサートやワークショップを行うアーティスト・イン・レジデンス事業、文化芸術の様々な分野から講師を招き研修やワークショップを通じた人材育成、市原多朗氏による若手音楽家へのレッスンやコンサートなど、質の高い公演の鑑賞やアート体験できる機会を提供し、誰もが文化芸術に触れることができる機会を充実します。

●スクールプログラム実施事業／45万円

市内小中学校の児童生徒が、土門拳記念館や酒田市美術館で鑑賞学習を行い、土門拳をはじめとする本市ゆかりの芸術家の生涯と業績を知ることにより、郷土愛を育むとともに、本物の芸術作品に触れることで、多様化する社会に柔軟に対応できる人材の育成を目指します。

●山居倉庫保存活用計画策定事業／434万円

庄内の米づくり、近現代の米穀流通の歴史を今に伝える「山居倉庫」の国史跡指定を受け、歴史的景観を次世代に確実に継承していくため、令和4年度に、今後の利活用の方向性を示す山居倉庫保存活用計画を策定します。

●文化資料館（仮称）整備事業／623万円

中央図書館移転後の跡地に資料館・光丘文庫・公文書館・市史編纂の機能を持つ「過去にあった酒田の出来事（行政を含む）や文化を未来に伝えるための総合施設」である文化資料館（仮称）を令和6年4月の開館に向けて整備します。

●ミライニ管理運営事業／3億742万円

中央図書館を含む酒田駅前交流拠点施設ミライニを運営することにより、市民の多様な活動及び学習機会を創出し、交流促進と中心市街地の活性化を図ります。

●国体記念体育館改修事業／8億2,992万円

国体記念体育館の改修を行い、将来にわたり安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、競技力の向上や大会誘致を図り、スポーツ行事への参加者の増加につなげます。



アーティスト・イン・レジデンス事業を通じて文化芸術の地域発展を目指します



スクールプログラム実施事業の様子



酒田駅前交流拠点施設ミライニ

1 地域経済を牽引する商工業が元気なまち

●元気な小規模事業者持続化特別助成事業／570万円

国の小規模事業者持続化補助金に市が上乗せ助成することで、販路開拓や設備投資を促進することにより、本市小規模事業者における販売額（売上額）の増加を図ります。

●産業振興まちづくり推進事業／9,331万円

地元企業や農林水産事業者等に対するマッチング支援や、事業者による共創コミュニティの創出及び運営支援を通じた効果的なビジネスプロジェクトの組成を行うほか、女性活躍支援、創業支援により、本市の産業振興を図ります。

●中小企業融資資金貸付事業／19億7,834万円

中小企業者等の資金調達を支援することにより、企業の立地を促進します。

●企業立地促進事業／1億6,033万円

本市で工場等を新設、拡充又は移設するために用地を取得した企業に対し、用地取得費の一部を助成し、企業立地及び雇用機会の拡大を図ります。

●設備投資促進助成事業／2億527万円

市内企業の積極的な設備投資を促進するために必要な助成措置を講ずることにより、地域経済を牽引していく企業を育成し、産業の振興を図ります。

●サテライトオフィス等整備支援事業／2,200万円

本市への新たな人の流れを創出するため、市内で新たにサテライトオフィス、シェアオフィス、コワーキングスペース等を整備する事業者等に対して、施設整備に関する経費や運営に関する経費の支援を行います。



酒田市産業振興まちづくりセンター「サンロク」

2 「港」の物流機能により産業競争力が高いまち

●港湾整備事業／5,391万円

国土交通省及び山形県が実施する港湾整備事業に係る費用の一部を負担することによって港湾機能の強化を図り、酒田港の利用促進と地域経済の活性化につなげます。

●重要港湾酒田港活性化推進事業／1,792万円

ポートセールス活動及びコンテナ貨物利用促進助成、リサイクルポート推進施策等を実施し、酒田港の利用促進と地域経済の活性化につなげます。



整備が進む酒田港

(写真提供 国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所)

3 地元でいきいきと働くことができるまち

●若者地元就職促進事業／407万円

高校生、教諭及び保護者等を対象とした地元企業の見学や若手社員との意見交換等を通して地元企業への理解を深める企業見学ツアーの実施や「ジョブナビin酒田」の開催を支援するなどにより、若者の地元就職を促進します。

●若者地元就職魅力発信事業／175万円

高校生や大学生に、酒田の魅力や酒田で働き暮らすことの良さを伝える動画を制作し、企業説明会等での活用やSNS等で発信することで、若者の地元就職への意識を醸成します。

●女性活躍推進事業／714万円

働く女性又は働こうとする女性たちが、その個性と能力を十分に発揮しその思いが叶えられるように、誰もが働きやすい就業環境の実現を推進します。



若者の地元定着に向けたPRを行っていきます



女性が働きやすい職場づくりを目指す事業主の会を組織し、意識啓発の取り組みを行います

4 夢があり、儲かる農業で豊かなまち

●農業次世代人材投資事業／2,116万円

新規就農者が安心して農業を始めることができるよう、経営が不安定となりがちな就農開始直後の農業経営を支援し、新規就農者の定着を図ります。

●耕畜連携推進事業／1,961万円

畜産農家や水稻農家が飼料や糞肥、堆肥といった資源の活用に取り組み、循環型の農業を推進するため、堆肥散布などの取り組みに支援し、農業、畜産業の連携を強化します。

●畜産飼料生産基盤農地耕作条件改善事業／7,344万円

八幡地域において、農地の耕作条件を改善して、飼料生産基盤の整備を行う事業に対して支援し、畜産経営の競争力強化を図ります。

●スマート農業推進事業／996万円

水稻栽培の基礎知識の習得や目的に応じたカリキュラムを通して米作りを学べる「もっけ田農学校」を運営し、知識や科学的根拠に基づいた農業を実践できる人材を育成します。また、土壌診断など、科学的データを取り入れた農業に対して支援を行うほか、研修会を開催し、スマート農業の推進を図ります。

●さかた農業生産性向上支援事業／1,500万円

米づくりの基本となる土づくりの支援や、園芸農業において、生産性向上のための機械導入等を支援することにより、農業経営の安定化を図ります。



畜産業と農業の連携により循環型農業を推進します



米作りの担い手を育成する「もっけ田農学校」

5 100年続く森林（もり）を造り、活かすまち

●森林経営管理推進事業／1億1,027万円

林業経営の効率化と森林管理の適正化を一体的に図り、森林の経営や管理が適切に行われていない森林について、森林所有者と民間事業者をつなぐことで、林業の持続的発展及び森林の多面的機能の発揮を図ります。

●森林ボランティア育成事業／122万円

万里の松原や砂防林など、市民に身近な森林を守るボランティア活動を支援します。また、市民の森林の多面的機能への関心を高め森林環境教育を推進するとともに、森林環境の保全を図ります。



計画的な森林整備により、持続可能で収益性の高い森林経営を促進します

6 恵み豊かな水産を活かすまち

●いか釣り漁業支援事業／1,000万円

スルメイカは酒田港全体の漁獲量の約8割を占める重要な水産物であり、安定した水揚げを確保するため、中型いか釣り船をはじめ県外船誘致も含めていか釣り漁業の振興を図ります。また、「いかのまち酒田」の認知度向上のための消費拡大を推進します。

●水産業成長産業化支援事業／1,200万円

本市の水産業を持続し魅力ある産業にしていくとともに、漁村や内水面漁業地域の振興を図るため、漁業者等が自ら考案した多様な取組みを支援します。



いか釣り船団出航式を開催し、いかのまち酒田のアピールを行います



高品質な水産物の安定供給の体制づくりを応援します

3

ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田 ~交流拡大~

1 移住者・定住者が増えるまち

●生涯活躍のまち構想推進事業／2,927万円

移住者向け住宅と地域交流拠点を整備運営する事業者や、関係機関等と連携し、参加意欲の高い人材の移住を促進します。

●酒田移住交流推進事業／1,677万円

移住相談総合窓口を設置して相談対応及び情報提供を行うほか、各種支援策やPRなど総合的な施策を展開することで移住者の増加を促進します。

2 「おもてなし」があふれ、交流でうるおうまち

●観光戦略・インバウンド推進事業／1,842万円

インバウンド等の観光誘客に取り組む団体を支援することで、コロナ禍後の観光客の増加を目指します。また、観光地域づくり法人「酒田DMO（仮称）」を設立して新たな観光誘客を促進し、観光消費額の増加につながる取り組みを推進します。

※DMO (Destination Management Organization の略)：観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを目指します。

●観光戦略推進協議会負担事業／1億184万円

酒田DMO（仮称）の設立と自立のための支援を行うとともに、誘客を拡大するための各種観光イベント等の企画運営を実施します。

●ふるさと納税推進事業／23億4,841万円

ふるさと納税を推進することにより市の財源確保を図り、併せて市の特産物のPRを行い、市の知名度向上と地域経済の活性化を目指します。



酒田舞娘



令和3年10月にオープンした交流観光拠点「日和山小幡楼」

3 「港」発の交流で賑わうまち

●客船誘致事業／877万円 客船受入事業／115万円

国内外のクルーズ船寄港の再開に向けて、船社等へのプロモーション活動を行います。寄港時には、船舶や港湾の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインに基づく対策に取り組みつつ、安全・安心な受入体制の構築を行います。

●庄内空港振興事業／572万円

路線の維持・拡充に向けて、庄内空港利用振興協議会を中心に、観光事業者と連携して庄内空港の利用拡大に努めます。



開港30周年を迎えた庄内空港

1 誰もがいきいきと暮らしやすいまち

●意思疎通支援事業／173万円

聴覚障がい者等が医療機関や事業所等に赴く場合に、手話奉仕員等を派遣し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図ります。また、手話教室を開催し、手話奉仕員の育成と聴覚障がい等に関する理解と知識を高めます。

●障がい者ほっとふくしサービス事業／1,152万円

障がい者の快適で安全な生活と社会参加を図ることを目的に、重度心身障がい者が本市指定の福祉サービスなどを利用する際、その利用料の一部または全部を助成する、障がい者ほっとふくし券（1人あたり12,000円／年）を交付します。

●ほっとふくし券事業／2,579万円

在宅での介護を必要とする方の経済的な負担を軽減し、安心した生活を送ることができるよう、介護に係る費用の一部を助成します。



手話教室を開催し視聴障がい者に関する理解と知識を広めます

2 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまち

●結婚推進支援事業／577万円

市、企業及び団体等が連携して結婚を望む独身男女に出会いの機会を提供するとともに、結婚に伴う経済的負担軽減のため新生活開始時の住宅費用等を支援することで若い世代の結婚を後押しします。

●保育料負担軽減事業／1,009万円

幼児教育・保育の無償化の対象とならない子のいる一定の所得階層までの世帯の保育料を、県と市が連携して無償化し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

●特定不妊治療助成事業／1,018万円

不妊に悩む夫婦への支援及び少子化対策の一環として、不妊治療に要する経済的負担を軽減し子どもを産みやすい環境づくりを図ります。

3 健康でいつまでも活躍できるまち

●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業／5,160万円

●新型コロナウイルスワクチン接種対策事業／3,319万円

予防接種法（昭和23年法律第68号）附則第7条第1項の規定に基づき、厚生労働大臣から新型コロナウイルス感染症に係る臨時の予防接種を行うことの指示を受けて実施します。

●各種予防接種事業／2億4,106万円

予防接種法に基づく各種予防接種を実施し、感染症の罹患と発病防止を図ります。



新型コロナウイルスワクチン接種の風景

5

地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやす

1 住民と行政の協働による地域運営ができるまち

●コミュニティ振興事業／1億6,476万円

地域が育んできた力を活かし、地域に合った取り組みを地域コミュニティ自らが自由を選択し実行できる交付金制度（ひとづくり・まちづくり総合交付金）により、各地域の住民主体の活動を支援します。

●中山間地域活力向上事業／415万円

株式会社良品計画が、酒田市とのパートナーシップ協定に基づき、移動販売車による買い物支援を行い、地域住民との交流を通じて中山間地域で暮らし続けるための支援策等について提案を頂き、官民共同による地域の活性化や課題の解消を図ります。



中山間地域を巡る、無印良品の移動販売車

2 美しい景観と環境を「全員参加」でつくるまち

●ごみ減量化推進事業／2,447万円

出前講座や研修会の開催、ごみ出し情報の発行やSNS（市公式LINE）の活用等により、ごみの減量についての啓発を行うとともに、集団資源回収に対する報償金、生ごみ処理機購入に対する補助金を交付し、環境保全や廃棄物の資源化及び減量化の意識向上を図ります。

●花と緑のまちづくり事業／155万円

市民、事業者、行政の協働による花と緑があふれたまちづくりに取り組み、彩り豊かな花による市街地の美化を通じて、市民の美化に対する意識醸成を図ります。



市庁舎でのスタンディングフラワーバスケット作成

3 地域との連携でつくる安全・安心なまち

●災害時要援護者避難支援事業／59万円

災害時の避難に支援が必要と思われる方の名簿等を整備し、災害発生時における避難誘導、安否確認等の支援活動に活用します。

●防災対策強化事業／6,342万円

防災体制の充実強化を図るため、避難所となる小中学校への食料等の備蓄、地域の女性防災リーダーの育成、防災行政無線の改修や防災ラジオの頒布拡大を図ります。また、B&G財団の防災拠点整備事業を活用し、避難所への資機材導入や研修を実施します。

●空き家等総合対策事業／223万円

市及び民間団体で組織する空き家等ネットワーク協議会と連携した空き家等の利活用を促進するとともに、自治会と連携し管理不全な空き家等による問題の解消を目指します。



女性の視点に立った防災意識向上のため女性防災リーダー育成講座を開催します

4 「暮らしの足」が維持されるまち

●乗合バス運行事業／1億1,173万円

公共交通の空白地帯を解消し、高齢者や障がい者、通勤・通学者等の交通手段を確保するとともに、中心市街地へのアクセスの向上、まちの賑わいを図ります。

●デマンドタクシー運行事業／4,738万円

郊外地区の定時定路線型バス交通に代わる地域公共交通として、自宅から指定乗降場所までを結ぶ予約型公共交通のデマンドタクシーを運行し、郊外地区の交通手段の確保と高齢者等交通弱者の移動利便性の向上を図ります。



日本遺産のPRラッピングが施されたるんるんバス

5 自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち（八幡、松山、平田地域と飛鳥）

●八幡地域振興事業／781万円

●松山地域振興事業／582万円

●平田地域振興事業／944万円

地域の特色や資源などの魅力を発信するイベント等を実施することで交流人口を拡大し、地域振興や産業振興を図ります。また、地域おこし協力隊を配置し、外部の人材からの視点や隊員のこれまでの経験を生かした活動により、地域活性化を推進します。

●鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業／1,784万円

秋田県由利本荘市・にかほ市、山形県酒田市・遊佐町の3市1町で広域連携し、ジオツーリズムによる観光振興、住民のジオパーク活動の促進、防災及び自然教育活動を行うことで地域経済の活性化や人材育成を推進します。

●とびしまマリンプラザ管理事業／518万円

とびしまマリンプラザに整備した小規模店舗と食堂・カフェを運営し、島民の日常生活の利便性向上と飛鳥観光産業の振興を図ります。

●飛鳥活力再生推進事業／184万円

将来にわたってコミュニティ機能を維持し、人々が安心して住み続けられる島とするため、島民・大学・NPO・県・市が一体となって事業を推進します。

●飛鳥地区無線LAN環境整備事業／247万円

島内に敷設された光ファイバを活用し、島内の観光及び防災拠点に公衆無線LAN環境を整備することなどにより、島民及び観光客の利便性と災害時等の情報収集力の向上を図ります。



八幡地域トレッキング講習会の開催



個性豊かな作品が並ぶまつやま大手門くらふとフェア



彫刻をめぐる平田バスツアー



鳥海山・飛鳥ジオパークの自然教育活動

1 ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち

● 駅周辺整備事業／3億4,066万円

酒田駅前再開発及び酒田駅舎の工事完成に合わせ、酒田駅前広場の整備を行うことで、本市玄関口の一つである酒田駅前の利便性及び街並み景観の向上を図ります。

● 酒田商業高校跡地整備事業／4,058万円

酒田商業高校跡地活用の実施主体となる民間事業者を選定し、山居倉庫周辺エリアの魅力向上及びにぎわい創出を図るとともに、跡地隣接地を取得します。



酒田駅前広場の整備を行います

2 交流の基盤となる高速交通ネットワークの実現に向けて一丸となって取り組んでいるまち

● 日本海沿岸東北自動車道等建設促進庄内地区期成同盟会負担金／38万円

高速道路の早期完成に向けて、沿線市町村や関係団体と連携して取り組みます。

3 将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち

● 側溝整備事業／2億1,108万円

老朽化や不同沈下により本来の機能を果たしていない側溝の改修を実施します。整備する側溝にはすべて蓋を設置することで、安全な通行の確保を図ります。

● 橋りょう延命化事業／1億5,640万円

橋りょうの点検・診断結果に基づき、計画的に修繕を行い、安全性の確保とコスト縮減に取り組みます。

● 公園施設長寿命化等整備事業／9,400万円

将来にわたり誰もが安全・安心に利用できる公園を維持するため、計画的な更新による施設の長寿命化および機能向上に取り組みます。

● デジタル変革事業／1億7,441万円

酒田市デジタル変革戦略を基に、オンライン手続きの拡充や、市民と市をつなぐポータルサイト「市民マイページ（仮称）」の構築、デジタル技術を活用し地域課題の解決を図る「酒田リビングラボ」を実施します。



計画的な橋りょうの点検・修繕を実施します



「酒田リビングラボ」で開催したワークショップの様子